

えがお 1号



H29年4月

ご入学・ご進級、おめでとうございます

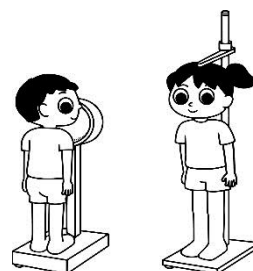
保健室では、児童が健康の保持増進に努め、健やかに成長し、生涯にわたり、健康な生活を送ることができるよう、保護者の皆様とともに考え、取り組んで参ります。よろしくお願いいたします。



4月の保健目標「自分のからだを知ろう」

※日程は学校だよりでご確認ください。

●**身体計測** …本校では年3回(4月、9月、1月)身長・体重を測定しています。発育には個人差がありますし、体質的なもので心配の要らない場合が多いのですが、中には気をつけないと健康を害する心配のある場合や、重要な病気がかかっている場合もあります。



健康診断等でお世話になる学校医・学校歯科医・学校薬剤師の先生方をご紹介します



内科	眞弓	先生	(眞弓循環器科クリニック)
内科	竹田	先生	(小児科竹田クリニック)
耳鼻科	目澤	先生	(丸山記念総合病院)
眼科	安井	先生	(スワ眼科クリニック)
歯科	色井	先生	(こみぞ歯科)
歯科	森泉	先生	(森泉歯科医院)

●**聴力検査** …聴力(聞こえ)の障害の有無、またその程度を検査します。検査の前にご家庭で耳掃除をしておきましょう。(強くやり過ぎないように、注意してください。)

●**歯科健診** …歯並び・かみ合わせ・顎関節の状態、歯垢の状態、歯肉の状態、歯の状態(むし歯の有無等)をみます。健診当日の朝食後の歯みがきを行うよう、声掛け・見届をお願いします。

●**結核・内科検診** …『結核に関する問

診票』は記入漏れのないよう、ご提出をお願いします。

●**色覚検査** …希望で行います。昨年度ほとんどの児童が検査を実施し、詳しい検査が必要な児童の家庭へは連絡し受診していただいています。毎年繰り返しの検査の必要はありません。詳しい検査をしていない、又は、お子さんの絵などの色づかいで気になるなどの場合はお申込みください。

※健康診断にあたり、ご心配なことがある場合は、担任または、養護教諭までお知らせください。

保健室の養護活動

学校の教育目標

やさしさいっぱい・学びいっぱい・元気いっぱい・あいさついっぱい

年間学校保健目標

★健康や安全に気をつけ、心身ともに元気な子ども

★自分のからだの発育・発達に関心をもち、健康増進に努める子ども

保健室経営方針

- 明るく清潔で、ぬくもりのある安心できる保健室
- いつでもだれでも健康課題解決のために活用できる保健室

重点目標

- 適切な救急処置とけが予防のための指導を行います。
- 心や体に課題を持つ児童の早期発見と対応に努めます。
- 学校保健に関する情報発信をしていきます。

保健管理

- 健康診断や健康観察、実態調査などを通して、心身の健康課題を把握し課題解決のための働きかけに努めます。特に慢性疾患や食物アレルギー、歯科保健に課題のある児童について、組織的な対応に努めます。

<救急処置>

- 的確な救急処置に努めます
- 児童等の重大事故発生時の緊急対応について、全教職員が協働し、命を守り抜くことができるよう、情報発信や訓練に取り組みます。

保健教育

- 毎月の保健目標の資料提供を行います。
- 生活習慣病の予防に関する個別指導(過体重、歯肉炎等)に栄養士とともに取り組みます。
- 学級・学年での保健指導・保健学習等に必要に応じて取り組みます。

健康相談活動

- 来室児童の「訴え」「気持ち」「行動」を十分に受け止められるよう努めます。
- 必要に応じて保護者や担任・教育相談部、学校医等と連携し、解決に努めます。

健康情報センター

- 保健だより等で児童の健康についてのタイムリーな話題を提供します。

保健室での応急処置(基本的な事項)

- 保健室での休養は1時間程度までとし、休養後も回復しない場合は早退とします。
- 児童に内服薬は与えません。
- 外科的な処置は、消毒・冷やす程度にとどめます。継続的な処置は行いません。
- 「頭のけが」「目のけが」「打撲・捻挫」など、経過観察が必要な場合は保護者と連絡をとります。
- 医療機関受診が必要と判断した場合は、保護者と連絡をとります。

(骨折の疑い・歩行困難・縫合が必要な傷・頭部腹部等の打撲で全身状態が悪い・眼のけが・重度のやけど・高熱・繰り返す嘔吐など)

